

議員提出議案第4号

あらゆる性暴力の根絶を目指す決議

上記の議案を提出する。

令和2年3月17日

提出者 豊島区議会議員

古堺 としひと	川 瀬 さなえ
さくま 一生	儀 武 さとる
渡 辺 くみ子	小 林 ひろみ
清 水 みちこ	わがい 哲 代
ふるぼう 知生	塚 田 ひさこ
入 江 あゆみ	

豊島区議会議長 磯 一 昭 様

あらゆる性暴力の根絶を目指す決議

区議会議員は、区民の負託を受けた区民の代表者であり、それぞれが高い倫理観と責任を持って議員活動を行っています。

昨今、子どもや若者をターゲットにした、デジタル性暴力が社会問題に発展しています。

昨年、性被害を受けた当事者の人権を踏みにじると感じられる表現がネット上に発信され、その後、ネット上で様々な反応がありました。

当然、表現の自由は誰にも保障されるべきですが、その前提を鑑みても、表現の自由を超えた不用意な発言、発信が性被害当事者にとって二重被害になることを、深く認識しなくてはならないと思います。

2020年2月、豊島区立男女平等推進センター（エポック10）情報誌も、性暴力を考える Me Too・With You運動に賛同し、性暴力をなくすにはどうしたらよいか、私たちは何ができるのか。を訴えています。

豊島区は子どもから高齢者まで、すべての年齢層を対象とし、性差による差別を解消するため、男女共同参画を進めてきています。

「としま男女共同参画推進プラン」では、インターネットやSNSの普及によって、女性の人権を侵害するような違法で有害な情報の発信が多様化している状況に対して、メディア・リテラシーの向上が求められると明文化しています。性暴力を告発することが困難な環境の中、ようやく声をあげた勇気ある当事者が孤立させられたり、攻撃されたりする社会、また心ないバッシングにさらされる社会であってはならないはずです。性暴力を許さないと共に、二重被害とも言えるセカンドレイプを許さない社会をつくるのが、すべての人にとって人権が尊重され、豊島区が目指す安全安心で暮らせるまちになると考えます。

豊島区議会は改めて、「あらゆる性暴力の根絶を目指す」ことを、ここに決意  
します。

以上決議します。

年 月 日

豊島区議会